



呉市・広島大学 Town & Gown 構想

令和 8 年度 海洋・海事分野共同研究プロジェクト募集要項

1. 目的

呉市と広島大学が Town & Gown 構想の推進で連携を深める中、市や企業等からの海に関する課題提示、広島大学等のシーズ活用によって、海洋・海事分野の新たな研究テーマについて、共同で調査・研究に取り組むことで、海洋・海事産業の振興など拠点形成へつなげていく。

2. 事業内容

海洋・海事分野における新たな課題の設定と課題解決に向けた共同研究プロジェクトの実施

3. 助成のねらい

(1) タイプ A：地域課題解決

- ・海洋・海事分野に関わる地域産業の課題の解決や市内企業の生産性向上などに向けて、調査、実践活動等に取り組む
- ・チーム組成のためのマッチングイベントを開催し、幅広く地域、企業、研究者、学生などによる連携が可能な仕組みを作る
- ・人的・知的資源の交流や活用を図ることで、多様な課題解決を目指す

(2) タイプ B：新技術等の研究開発

- ・研究者と企業等の連携により、海洋・海事分野に関わる新技術等の研究開発、社会実装に繋げるための実証実験等に取り組む
- ・共同研究プロジェクトに要する費用の一部を申請チームが負担（マッチングファンド）する
- ・今後、新産業の創出などに向けて、産学官で基礎技術開発と産業利用を推進する体制整備を目指す

4. 事業予算

全体予算 1, 0 0 0 万円

5. 採択件数

採択件数 4 件程度

(上限 3 0 0 万円× 3 件程度、上限 1 0 0 万円× 1 件程度) ※タイプ A、B 合わせた件数

6. 令和8年度事業スケジュール

- ・5月20日(水)～8月7日(金) : 募集期間
 - ・6月～7月の間で2回程度 : マッチングイベントの開催
 - ・8月中旬 : 選定委員会審査、選定
 - ・9月～翌年7月末 : 事業期間
 - ・翌年8月上旬 : 実績・実施状況報告
- ※2年間の事業の場合は、次年度の審査

7. プロジェクトの要件

(1) タイプA：地域課題解決

- ・以下の要件を含んでいること
- ① 複数の企業や組織にまたがる課題の解決に向けた業界横断・地域横断・産学官連携のアプローチによる先行事例の調査・情報収集、実証実験等

(2) タイプB：新技術等の研究開発

- ・以下の要件を1つ以上含んでいること
- ① 海洋・海事の分野における革新的な技術シーズを用いた研究開発や実証実験
- ② 海洋・海事の分野において、革新的な新技術により新たな市場の創出が期待できる研究開発
- ・共同研究プロジェクトに要する費用の一部を申請チームが負担すること
- ・広島大学等との共同研究契約を締結し、知的財産権の権利帰属を明確にする

8. 応募条件

- ・海洋・海事分野の現状把握や新技術等の研究開発、課題解決に資する内容であること
- ・公益性が高いものであること
- ・提案責任者は海洋文化都市くれ推進協議会の教育研究機関の研究者であること
- ・主要な参画メンバーは海洋文化都市くれ推進協議会の会員であること
- ・実証事業は呉市内の地域・海域で行うこと
 - ・助成期間は1プロジェクト当たり最大2年(2年目は全体予算の中から優先して配分)
- ・事業期間終了後、1カ月以内に経費明細表を提出すること(別紙1)
- ・中間報告会及び最終報告会において、当該年度の実績・実施状況を発表すること

9. 助成対象経費

費目		対象経費
①物品費	設備備品費	○プロジェクト遂行のため、必要な研究用設備・備品・試作品等の購入費用
	消耗品費	○プロジェクト遂行のため、必要となる研究用試薬・材料・消耗品等の購入費用

②旅費	○プロジェクト遂行のため、必要となる旅費、交通費、招へい者に係る旅費
③人件費・謝金	○講師、必要となる研究者（ポスドク、R A 含む）等に支払う謝金など
④外注費	○プロジェクト遂行のため、必要な加工、組み立て、設計、プログラム開発、分析等を外注する場合に要する経費
⑤その他経費	○上記の他、プロジェクト遂行のため、呉 TGO が必要かつ適切と認めた経費 (例) 会議費、通信運搬費、リース等費用、機器修理費用、印刷費、書籍（雑誌を除く）、ソフトウェアライセンス使用料等

10. 応募手続き

(1) 受付期間

～令和 8 年 8 月 7 日（金）

(2) 提出先

以下のメールアドレスあてに提出ください。

呉市・広島大学 Town & Gown Office（呉 TGO）

E-mail: kure-tgo-admin@office.hiroshima-u.ac.jp

(3) 提出書類

- ・令和 8 年度海洋・海事分野共同研究プロジェクト申請書（別紙 2）
 - ◎文字のサイズは 10.5 ポイントにしてください。
 - ◎タイプ A は 5 ページ以内、タイプ B は 10 ページ以内に収めてください。
- ・概要を示した図（パワーポイント 1 枚）（採択の場合は公開します。）

11. 審査

- ・選定審査会を設置し、審査を行います。
- ・審査員が審査の過程で得た情報を外部に漏らすことはありません。
- ・審査のポイント（5 つの評価基準で評価）
 - ① 妥当性
海洋・海事分野における課題の解決につながるプロジェクトであるかどうか。
 - ② 実現性
計画内容や実施方法が具体的かつ明確に設定され、その実現が期待できるかどうか。
 - ③ 継続性
関係企業や地域住民等の利害関係者との協働体制が整い、持続可能性があるかどうか。

④ 波及効果

地域経済の向上などの面で、呉市全体への波及効果が期待できるかどうか。

⑤ その他

学術的な価値（研究成果の実践などを含む）が期待できるかどうか。

共同研究に要する費用について申請チーム（企業）の負担があるかどうか。（タイプ B）
経費の使用目的が妥当なものとなっているかどうか。

12. 広島大学と呉市、企業等のリソースを活用した連携による海洋・海事分野の進め方等

①始動：関係者が集まり、新たな課題を設定してスタート

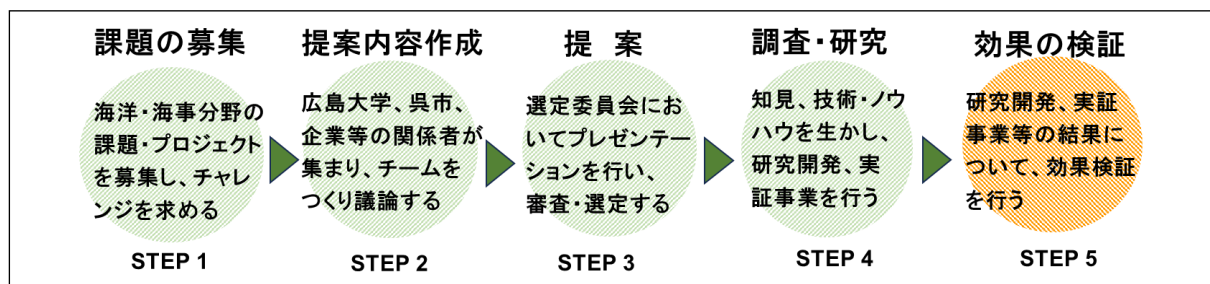
◆課題の設定、提案に向けて、広島大学や呉市、企業等の研究者、行政職員、企業人等の関係者がチームをつくって集まり、自由な意見交換、情報交換を行う。直面する課題だけでなく、将来に向けた課題へ取り組む。

②手法：学際的な研究ポテンシャル、企業の開発力を活用

◆海洋・海事というフィールドは、本来的に学際的な領域が数多く存在する。広島大学の総合大学としての幅広い分野の人的資源や研究能力、企業の応用研究力、社会実装力を生かして国際的な海洋・海事の拠点を形成していく。

③特色：社会実装に向けて、ビジネスをコーディネート

◆共同研究の成果については社会実装を加速し、呉市における海洋・海事産業の新たな可能性を示す。進んだ段階では、大学、市、企業を束ねるコーディネーターを活用して、各機関の多様性を確保しつつ、ポテンシャルを引き出し、スタートアップなどのビジネスにつなげていくこととする。



海洋・海事分野の共同研究プロジェクトのステップ

13. 共同研究プロジェクトの課題検討例

- ◇自動運航船の開発及び活用
- ◇水中ドローンの開発及び活用
- ◇ゼロエミッション海上輸送
- ◇気候変動 AI 予測による海洋情報の収集・分析
- ◇ICT を活用した瀬戸内海の状況把握

